

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	砂防課	氏名	竹内 健太郎
派遣先	松江市城北公民館		
<p>① 研修の日時 平成29年8月17日～21日（計5日間）</p> <p>② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。）  【8/17】公民館業務の説明（座学）、夏祭り準備（看板作成など）、会場設営（テント8基）  【8/18】夏祭り準備（抽選会商品、まつり券など）、会場設営（照明、提灯など）  【8/19】会場設営（看板、机椅子など）  【8/20】会場設営（舞台、横断幕など）、昼～夜：夏祭り運営（主に舞台施設係）、夏祭り終了後：片付け（机椅子など）  【8/21】夏祭り片付け（テント8基など）</p> <p>③ 研修の感想  （研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館での業務は掃除から何まで職員が全て行っており、掃除は業者、ちょっとしたことを臨時職員にお願いできるなど自分が置かれている環境がいかに優遇されているかが身にしみてわかった。</li> <li>・最初に音田館長から「考える掃除の実践」「地域をつなぐ笑顔であいさつ」が強く印象に残った。特に掃除については「掃除ができない人は仕事もできない。能率的にかつ見えないところを掃除することが仕事でも役立つ」と言われ、実行できない自分を身にしみて反省した。</li> <li>・自分が想像していたよりも地域の方が公民館を多く訪れ、都度笑顔で対応する職員の方に驚いた。常日頃“県民意識をもって”と思いつつも、笑顔をつくっていないことに気づかされた。</li> <li>・自分よりも10以上若いインターンシップの大学生3名、城北小学校教員2名と共同で作業するなかで、部下を未だ持ったことがない自分にとって、自分が引っ張るべき所、見守るべき所などその場で考えることができ、今後部下ができた際にこの経験を活かしたい。</li> <li>・最後祭りを終えて音田館長から「東北大震災において、祭りを盛んに行っていた地域は死傷者が少なかったという話がある。一人暮らしのお年寄りがどこにいるかなど地域のつながりが大きいことに祭りが盛んなことが比例している。「祭りをとおして地域のつながりを学んでほしかった。」と言われ、本当にそのとおりだと思った。実行委員の地域の方も最初は県職員と呼ばれていたが、最後は竹内君に変わっていた。今後は自分も地域に積極的に関わりたい。</li> </ul> <p>④ その他特記事項  （※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。）</p>			

（注1）研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

（注2）報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。



会場準備（テント設営、ブルーシート張り）



夏祭り当日最終打ち合わせ



研修生の出し物（六子ライブ前座）



平成城北音頭